

平成29年7月17日 金属産業新聞(3面)に掲載されました

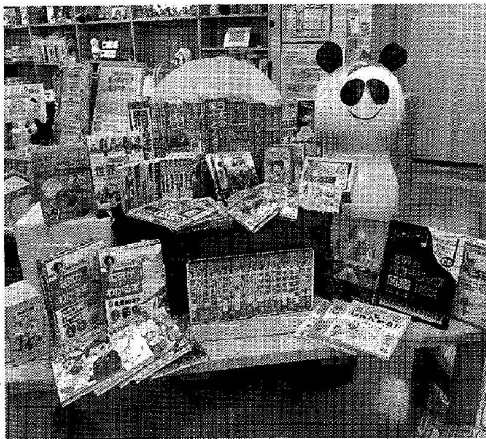
地元図書館に本寄贈

日東精工

自社書籍の印税で

日東精工(株)(京都府綾部市、材木正己社長)は、2014年5月に出版した『人生の「ねじ」を巻く77の教え』の書籍印税をもとに教育本や児童書を綾部市図書館に寄贈した。今回で3回目の寄贈となる。

CSR(社会貢献活動)の一環として同社が取り組んでいるもの。今年は「絵本文化推進協会」の協力を得て絵本の読み聞かせ会(同協会のキックオフイベント)も同時開催されることとなり、同社からの寄贈の枠組みとは別に、絵本も別途寄贈される予定。



寄贈した本

贈呈式は7月16日に綾部市図書館で行われた。贈呈した書籍は「どうぶつの中からこれ、なあに?」、「調べてまじめに新聞づくり」、「英語で

日本を紹介しよう」、「やってみよう!むかしのあそび」、「日本の国土をくらし」、「おもしろくてやりにたつ」子どもの伝記」などの106冊。

贈呈式後は絵本文化推進協会による読み聞かせ会も行われた。同協会は、河村建夫元文部科学大臣が顧問を務め、作家の柳田邦男氏が会長を務める。文科省の外郭団体である「国立青少年教育機構」が養成する「絵本専門士」の活躍をサポートし、本の魅力、本の大切さを広げることが目的に、今年6月に設立された。「絵本を贈る生活文化の創造」を理念に掲げており、多彩な講座で養成かつ認定された絵本専門士、朗読指導者及び絵本作家、児童文学作家など専門的知識を有する人びとを講師として名簿登録し、諸団体、グループなどの求めに応じて、講師として派遣するとともに、地域社会における絵本文化と読書推進にかかわる事業を行っている。